

平成27年度 鳥取県西部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成27年11月4日（水）午後2時30分から3時50分

場 所：西部総合事務所新館2階第17会議室

1 議事

(1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸毎に説明。

[検討対象海岸：境港工区、富益工区、夜見工区、両三柳工区、皆生工区]

<会議での主な意見>

意見) 皆生漁港（米子市）に整備された、西防波堤の効果はどうか。

回答) 防波堤による効果は期待しているところではあるが、昨年度（26年度）に発生した台風や低気圧により、一晩で港内が埋まってしまったことがあった。緊急的に浚渫を実施し、対応したところではあるが、十分ではなく来年度（28年度）も実施する予定としている。

(2) 各管理者の土砂管理への取組

■ 日野川水系総合土砂管理計画について（日野川河川事務所）

- ・当計画は、皆生海岸の海岸線の維持回復を図りつつ、各領域（海岸、河口、砂防、ダム）の土砂供給能力を最大限に引き出す対策を実施し、可能な限り海岸領域へ土砂供給を行うことを目的としている。
- ・昨年度（27年3月）に計画を策定し、「樹林化した砂州の掘削」、「河道内の置き土」等、洪水により下流へ土砂流出を促す、試行的な取組みを実施しているところ。
- ・対策を実施することにより、土砂通過量が年間3.4万m³から4.0万m³/年になると試算。

■ 海岸保全事業の進捗状況について（日野川河川事務所）

- ・両三柳工区は本年度（27年度）、全5基の離岸堤のうち3基目および4基目の一部が完了。来年度（28年度）は、5基すべてが整備完了予定。
- ・サンドリサイクルは、境港工区から21,000m³程度運搬し、富益工区・両三柳工区に養浜予定。

■ 境港公共マリーナの土砂堆積対策について（境港管理組合）

- ・日野川流砂系の末端部に位置することから、例年漂砂により航路、泊地が埋没している状況。
- ・昨年度から2箇年かけて、航路および泊地の大規模なポケット浚渫を実施。
- ・本年度（27年度）は新艇庫が完成し、日本オリンピック連盟のセーリング強化センターとして一層の強化アップを図られたところ。
- ・今年度、マリーナ安全協議会を開催（平成27年6月）し、関係者に航路埋没対策案について概ねの了解が得られたところである。

2 その他

■ 海岸法改正に伴う海岸保全基本計画の改訂（事務局）

- ・鳥取県では、平成26年度の海岸法の改正を受け、鳥取沿岸海岸保全基本計画の改訂作業を進めているところ。
- ・改訂の主なポイントは、平成23年3月に発生した東日本大震災による津波被害に対する対応（設計津波の想定、ねばり強い構造等）、老朽化した海岸保全施設の維持・修繕の対応（長寿命化計画の策定、点検記録の作成等）、近年の海岸に関する事項の更新となる。
- ・各市町村への調整や意見照会等を求めることとなるため協力をお願いしたい。

現対応状況：津波検討委員会の動きを見ながら、改訂に向け調整中